

至高のスカイライン GT 1968～1972

'68～'72 ハコスカ GT 勇猛かつ優雅なその魅力の全貌

本書は、1968年から1972年にかけて販売されていた三代目スカイライン(通称ハコスカ)の本です。絶版車の中でもハコスカは絶大な人気を誇り、「ハコスカを表紙に使えば、本が売れる」とまで言われています。もちろんこれまでも、他社からハコスカの本は出版されています。ただし、どうしてもGT-Rが中心でした。しかし、GT-Rだけでなく、GT、さらにはR仕様のファンも多く存在し、それぞれが自分のカテゴリーに関して熱い思いをもっています。この本は、これまでなかったGTにスポットを当て、GTの魅力に余すところ無く伝えていくものです。

さらには、GTとGT-Rの違い、年式による差の見分け方など、マニアも十分に満足できる内容をはじめ、これからハコスカを購入したいと考える人たちに向けて、どの場所に注意すればよいのかを指南するバイヤーズガイドの頁も設けます。これ一冊でハコスカの歴史や文化がまるごと分かる、欲張りな構成になっています。

【企画内容】

巻頭特集:

ハコスカ GT、陶酔のサーフライン

GC10の4型+GT-Xを集め、美しい写真で見せる、巻頭グラビアページ。GTを讚える文章と一緒に、その優雅さを伝える。

ハコスカの年代別識別法

4タイプ+GT-X(4ドア、2ドアHT)は、年代別にどこが異なるのかを考察する。グリル、テールライト、ミラー、インパネなど、細かく解説。ハコスカ博士になれそうな、マニア向けページ。

ハコスカ GT、誕生前夜

プリンス自動車、日産との合併など、ハコスカを知るに欠かせない、歴史解説のページ。当時の写真と一緒に、その足跡をたどる。

プリンス自動車と荻友会

開発者櫻井眞一郎氏インタビューと、プリンス自動車OBで組織されている荻友会について。荻友会の方のインタビューや、職制表を掲載する。

L20 エンジン大解剖

L20 エンジンの断面図を掲載し、解説する。

L20 オーバーホールの実際

実際にL20をオーバーホールし、その過程を記録する。

GC10 カタログと広告

当時のカタログと、TVCM、雑誌広告を掲載する。

ハコスカといえば、「VICTORY50」

店舗紹介、社長インタビュー。

“R仕様”という世界

GT-R が買えないから R 仕様、ではなく、R 仕様というひとつの世界にこだわり続けるオーナーインタビュー。

ハコスカで商売繁盛！ ハコバン・パラダイス

生存台数の少ないハコスカ・バン(VC10)の紹介です。オーナー取材を通じて、稀少なバンの魅力を伝えます。

ハコスカ乗りのスターたち

ハコスカを所有している芸能人を取材します。

GT-R 50 連勝の軌跡

ハコスカ GT-R の概要を解説し、当時のレース写真とその勝利の記録をたどる。可能であれば高橋国光×VICTORY50 社長対談、社長のレース活動についても触れる。

ハコスカ GT・完全バイヤーズガイド

購入時のチェックポイントを図説。初心者が見落としやすいポイントやハコスカの弱点について解説。後で直しが効き、通常走行には問題がない部分と、根幹の問題部分をわかりやすく示したい。部品の調達状況や購入後のメンテナンスについても、現行車とどのように違うのか、詳しく指南する。また、旧車で車両保険に入ることはできるのかを探る。

ハコスカ GT・スタイルアップ

GT ならホイールは何を履けばよいのか、迷っている人は多いはず。本誌おすすめのマッチングを紹介。また、取り付けるとおしゃれ度や格がアップするような、アクセサリ類も披露する。

ハコスカ GT 配線図

マニア垂涎の、GT 配線図を掲載します。

特別付録:

「GC10 取扱説明書復刻版」当時のものと同じ色、同様の紙質・サイズで作成する。

● 版型 : A4 ワイド(225×297mm)無線綴じ、付録「GC10 取扱説明書復刻版」

● ページ数: 160+4 ページ(カラー112P、モノクロ 48P)